

タイトル	種をまき、育てる荻窪 あふれる活動、 多彩なまちの作り方
提案者 (所属・代表者)	松永仁、海野沙弥佳、角田大樹 (慶應義塾大学環境情報学部)、 大沼芙実子、福島絵美、宮川真海子 (慶應義塾大学総合政策学部)
整理番号	39
賞	銀賞

**【注意事項】**

本資料は、平成 24 年に杉並区が開催した「これからの荻窪駅周辺まちづくりを考えるアイデアコンペ（以下、アイデアコンペ）」において応募者から提案された一作品です。今後の荻窪におけるまちづくりの方向性を決定するものではありません。

アイデアコンペの詳細については、以下のページをご覧ください。

<https://www.city.suginami.tokyo.jp/s094/6497.html>

# 種をまき、育てる荻窪

## —あふれる活動、多彩なまちの作り方

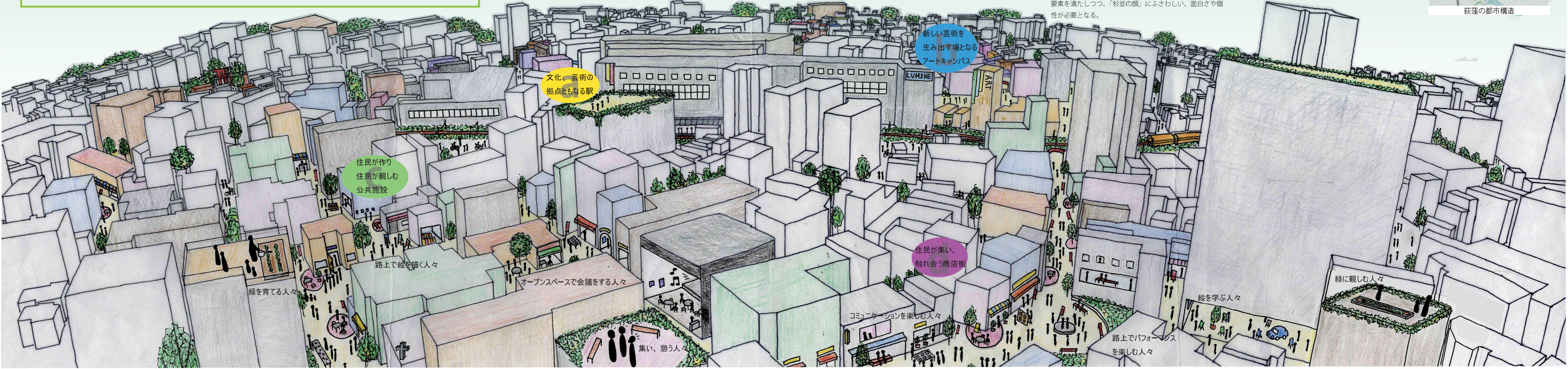
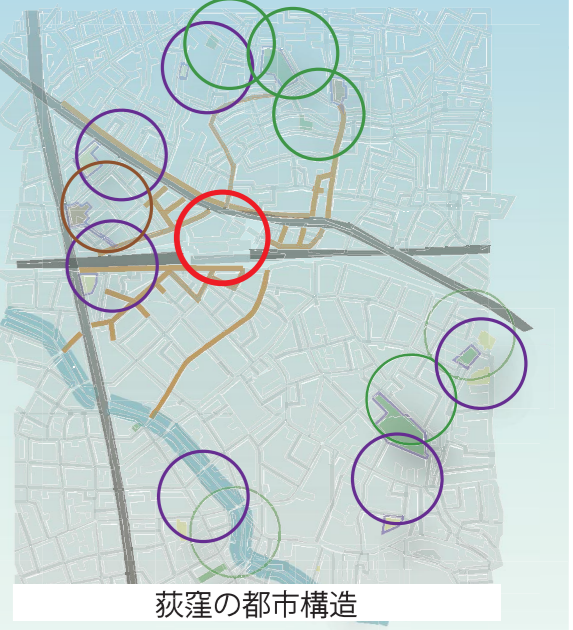
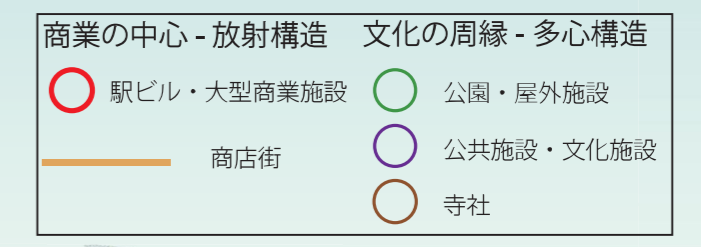
時代を経て培われた文化的な土壌を生かし、ハード面やソフト面の整備という「種」をまくことから、市民参加の活動を多彩なものとしてそこから新しい文化的な「芽」が出ることに。そこから、市民参加の活動が活発な、一体感のあるまちが育っていく。

### 土壌 文化的で落ち着きある住宅都市、荻窪

■駅周辺に集まる多様な要素  
駅周辺には、南北に延びる、個性豊かな個人商店の並ぶ商店街、充実した公共施設、歴史を醸す文化施設、住宅地の中の公園等、様々な要素が密集している。これらの点々は、同時にこれらの場所を核にして、多面的に街を便するポテンシャルである。

■都市活性化拠点「杉並の顔」  
荻窪は杉並区で唯一の都市活性化拠点として位置づけられており、「働く、遊ぶ、憩う、集う、学ぶ」などの多様な要素を持ち合わせる事が期待される土地である。これらの要素を満たしつつ、「杉並の顔」にふさわしい、面白さや個性が必要となる。

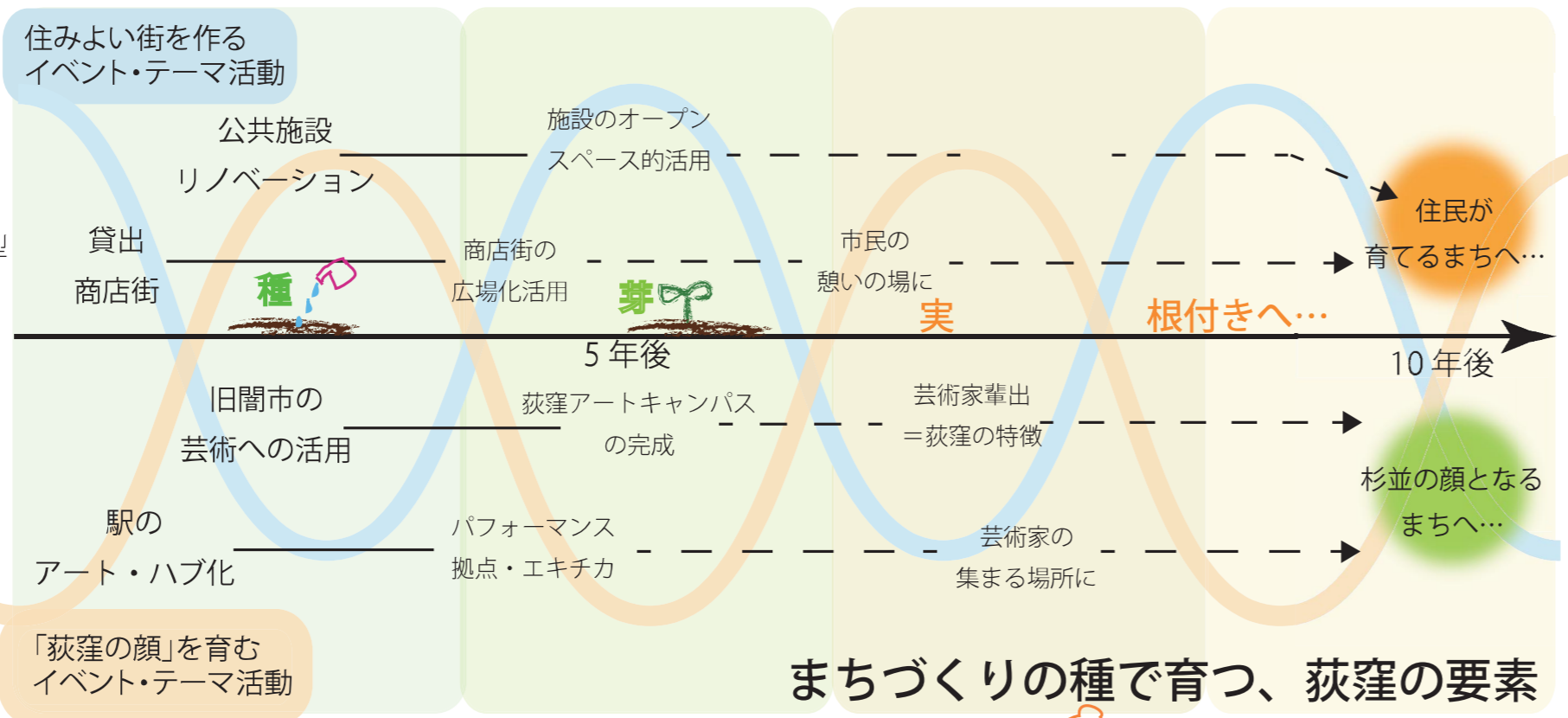
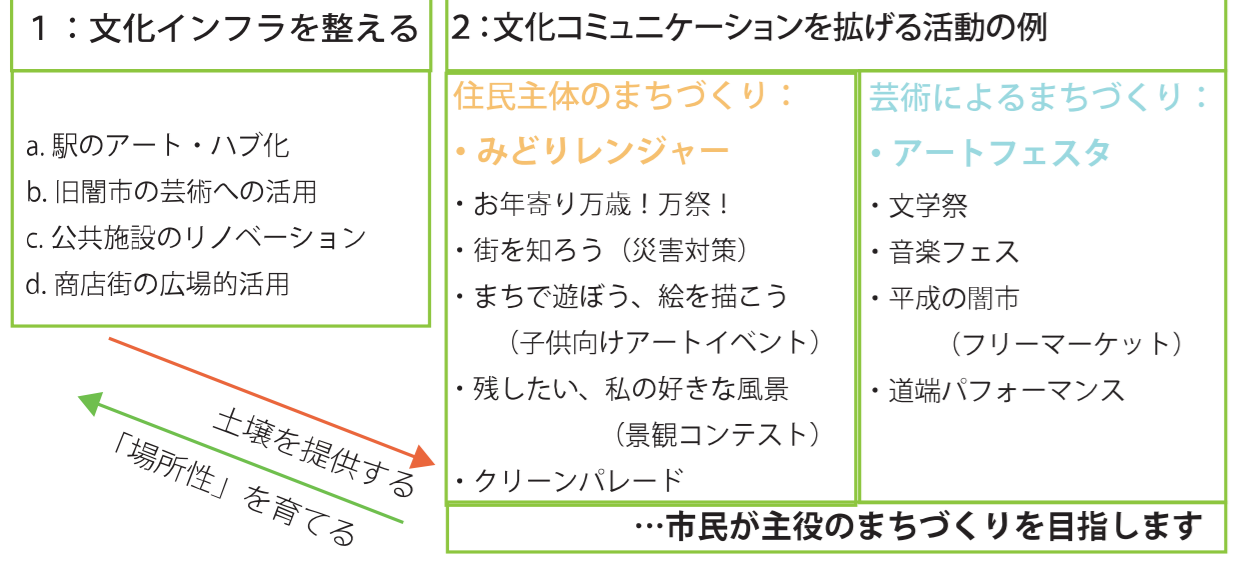
■文化的な住宅地としての土壌  
大正・昭和時代から、南側は大きな別荘地が立ち並び、立派な住宅街であった。戦前には北側に新人文藝人の集まる「文化のまち」として栄えた。高貴な文化あふれる住宅地としての「らしさ」を保持するこの街が、10年後、どのようにその個性を引き継いでいるべきか。



### 種まき

**1:文化インフラを整える**  
既存の空間にちょっとした整備を加えたり、新しい仕組みを設けることで、新しい「場所性」を与え、活動の生まれる土壌を作ります。

**2:文化コミュニケーションを拡げる**  
駅周辺に集まる様々な要素、商店街・公共施設・駅などの空間を活用し、拠点多心型のイベントやテーマ活動を行うことで、住みよいまちに必要な要素や、「杉並の顔」となる要素を荻窪に根付かせます。イベント・テーマ活動ともに、テーマ問わず、市民を巻き込む仕掛けを用意し、市民がまちづくりの主役となる機会を創出します。



根付いた先：  
既存の空間に宿る新しい場所性を引き出す（パブリックな空間、広場的空間の増加＝憩う）場の創出）市民参加の活発な街となる一体感のある街へ

今回は「みどりレンジャー」、「アートフェスタ」を事例として紹介します！

### 文化コミュニケーションを拡げる

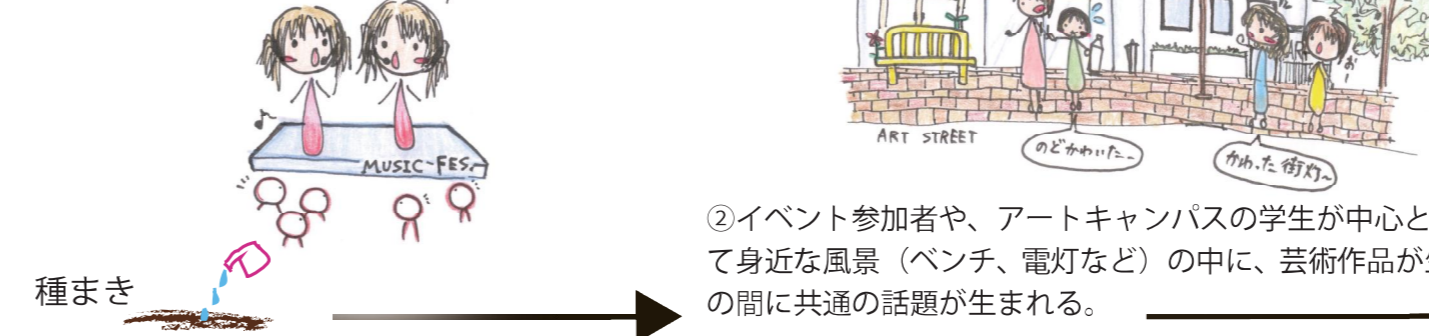
#### 住民主体のまちづくり-みどりレンジャー

①街の緑化に貢献する「みどりレンジャー」を募り、市民と小中学生で構成する同草会を結成。



#### 芸術によるまちづくり-アートフェスタ

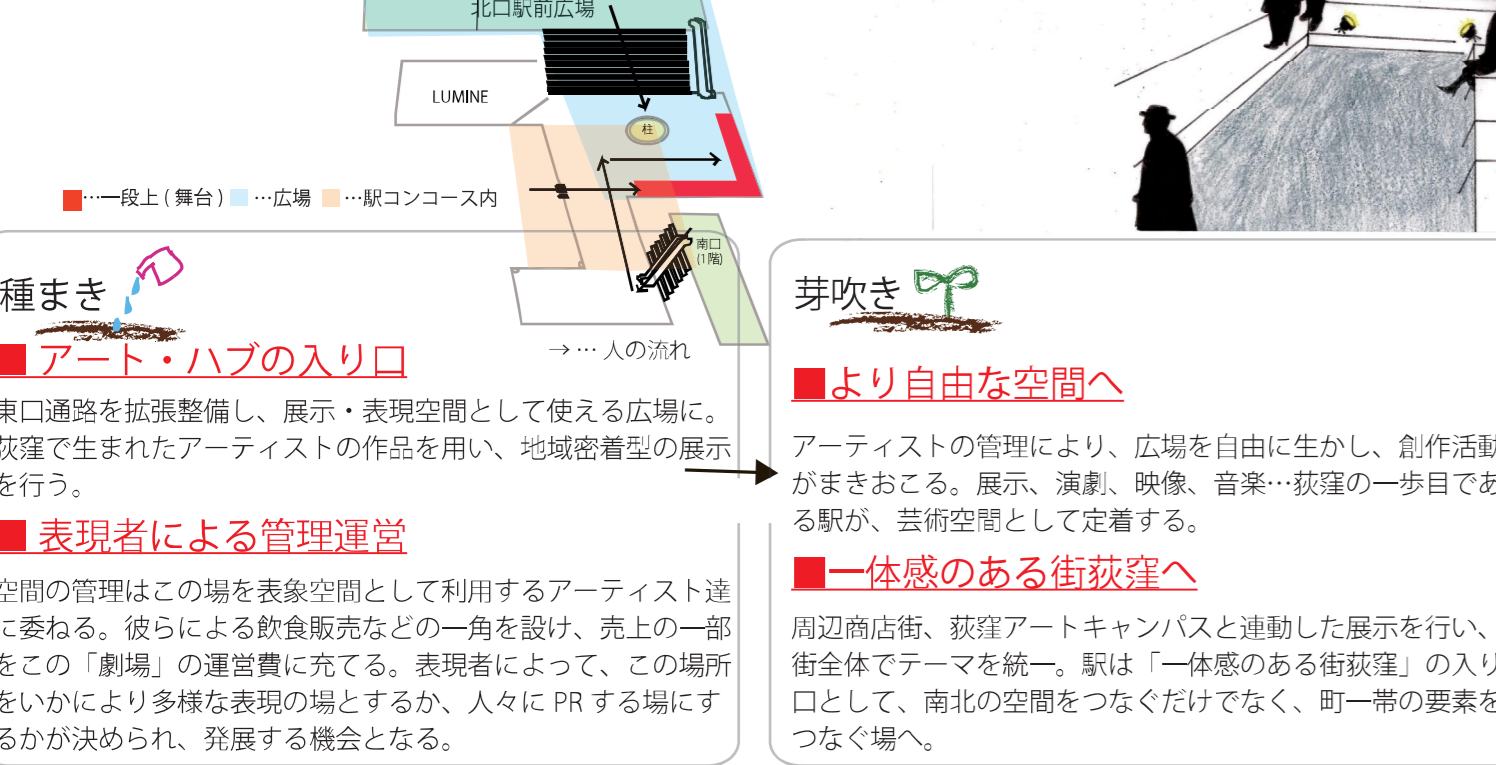
①拠点多心型の芸術イベントを行う（「荻窪音楽祭」を、同日・多拠点で開催するイメージ）



### 文化インフラを整える

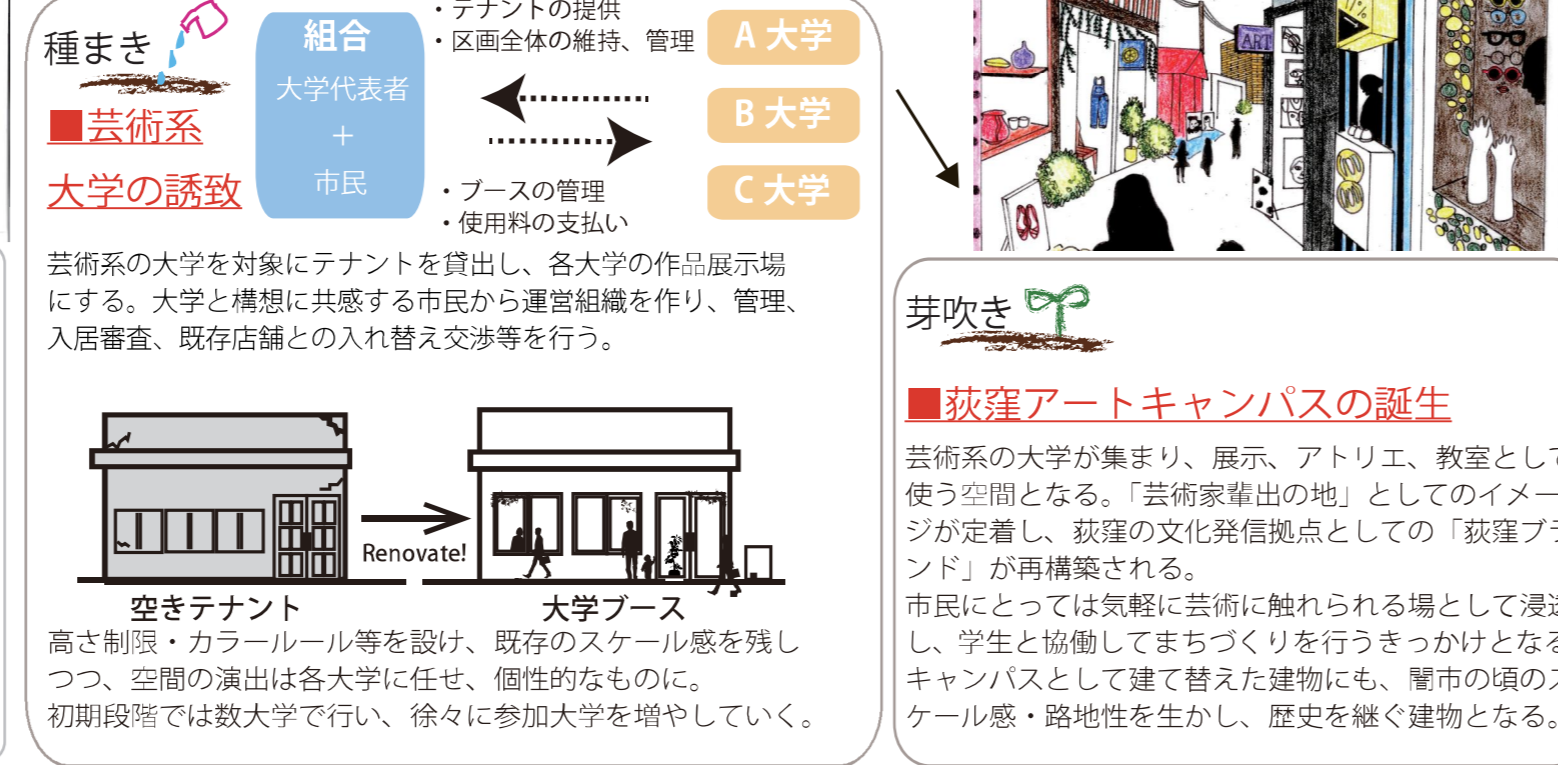
#### a. 駅のアート・ハブ化 - 南北を繋ぐ、街を繋ぐ

荻窪駅は、市民主体の街の中心として、街のハブとしての役割を担う。駅自身も活動・イベントの舞台として生まれ変わり、街は南北一体となる。



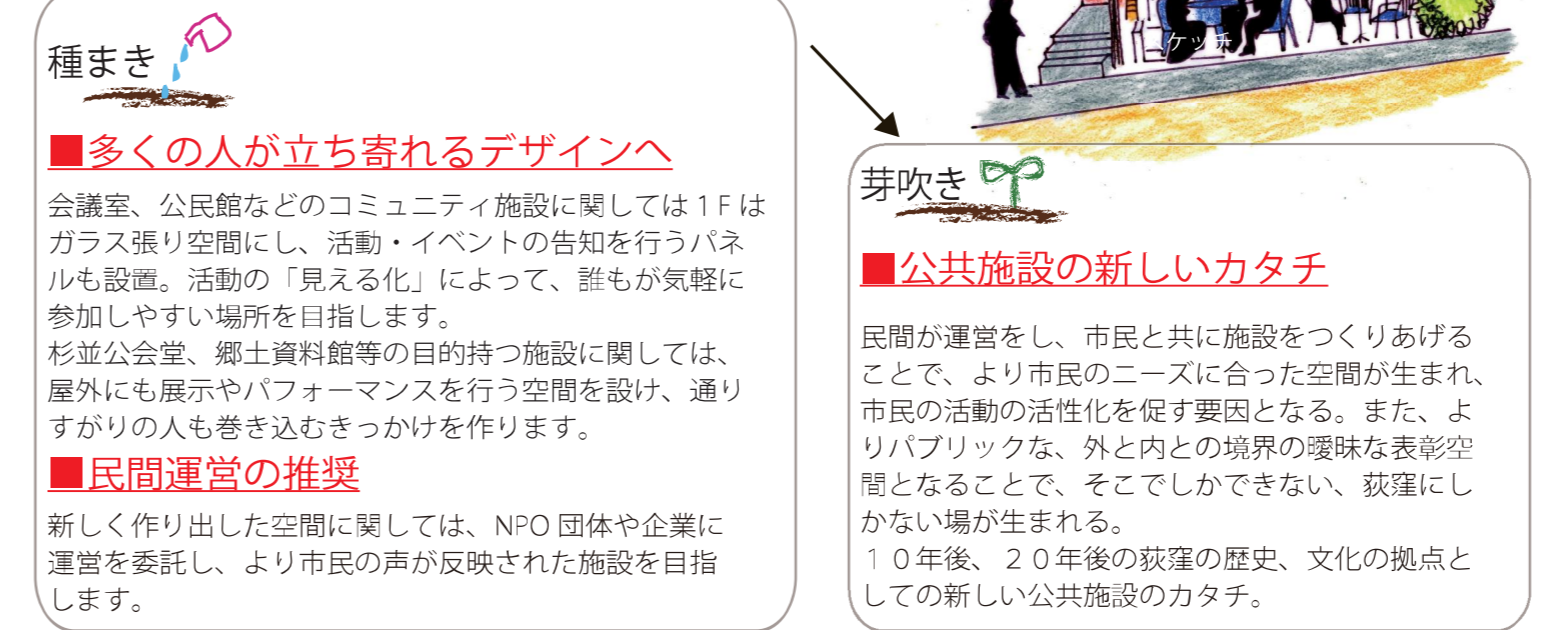
#### b. 旧間市の芸術活用 - 歴史・文化を継ぐ

荻窪駅北口の再開発予定地区（旧間市）では、スケール感を利用して、「荻窪アートキャンパス」へ。新人文藝人輩出の地の文化を復活させる。



#### c. 公共施設リノベーション - 人と心のよりどころ

駅周辺地区を囲うようにして存在する、荻窪の歴史や文化を感じられる公共施設。これらの施設がより多くの人が利用する、より面白いコンテンツを発信する、より使いやすくなるなど、徐々に、柔軟に生まれ変わる。市民と一体となって作り出す、新たな公共施設を展開させていき、10年後、20年後の荻窪の歴史、文化の拠点としていく。



#### d. 貸出商店街 - つながりを生む商店街

南北に放射状に延びる商店街も荻窪を形作る大きな要素。ここを荻窪まちづくりの拠点と捉え、単なる「通り」から「つながりを生む空間」変化させることにより、荻窪のまちはさらなる一体感を持つこととなる。

